

1. 地域概要

計画名	「観光により持続できる島、小豆島」を実現するための環境整備
対象エリア	小豆島
実施主体	小豆島町 商工観光課
年間観光客入込数	約91万人（令和5年）
年間延べ宿泊者数	27万泊・人（宿泊率30%）
主な観光資源	エンジェルロード、国立公園 寒霞渓、道の駅 小豆島オリーブ公園、二十四の瞳映画村



エンジェルロード



国立公園 寒霞渓

● 観光ビジョン

観光により消費される島ではなく、
観光により持続できる島へ

- 2024年1月に、小豆島町と土庄町が一つになり「小豆島観光ビジョン」を策定
- 裾野の広い観光産業を中心に「島は1つ」を合言葉に、両町がビジョンを共有し、将来、世界中の観光客で1年中賑わう、持続可能な観光の島を目指す

● 推進体制（協議の場）

- 行政機関、観光協会、地域住民代表（小豆島町自治連合会 会員・土庄町自治会連絡協議会 会員）を中心に、協議・合意形成を行う
- 小豆島観光協会主催の「小豆島観光集いの場」にて、会員に限らないすべての島民に開けた形で、小豆島観光の現状や本事業の進捗を報告

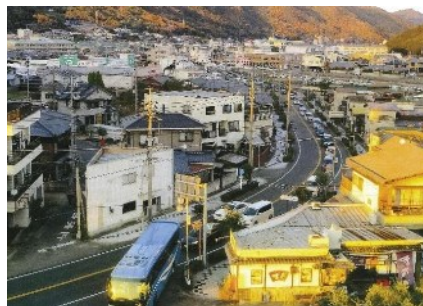
行政機関	事業者	住民関係者
小豆島町 商工観光課	小豆島観光協会	土庄町自治会 連絡協議会
小豆島町 企画財政課	小豆島地域公共 交通協議会	小豆島町 自治連絡協議会
土庄町 商工観光課	かんかけタクシー	
土庄町 企画財政課		

2. 課題

● 主な課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 深刻な交通渋滞	- 繁忙期には、島内主要二次交通であるバスが混雑し、観光客だけでなく住民も乗り切れずに積み残しが発生。次のバスを1時間以上待つこともあり、住民の生活快適度・観光客の旅行満足度が低下している - 人気観光地の駐車場周辺に、駐車場待ちの車の滞留が周辺道路まで伸び、交通渋滞が生じている	観光客・地域住民
2. 島民の生活環境悪化	観光客が生活空間に立ち入ってしまうトラブルが発生している マナー違反による建造物等の劣化・自然環境・景観の悪化が生じている	地域住民・地域資源

1. 深刻な交通渋滞



エンジェルロード
前面道路の混雑状況



同進入路の状況
(第2駐車場へ誘導)



路線バスの大幅な混雑・積み残し



主要観光地が島の南側に集中

2. 島民の生活環境悪化



田んぼあぜ道への立ち入り



観光地や海岸へのごみのポイ捨て

3. 背景・要因

● 課題の背景・要因

主な背景・要因

1. フェリーで一気に来訪する観光客への二次交通の不足
 - ・ 夏休みや紅葉シーズン、瀬戸内国際芸術祭開催時などピーク時にはフェリー 1 便で約500名の観光客が来島するが、それを受けるバスは50名程度しか乗車できないなど二次交通が脆弱なため、多くの積み残しが発生している
2. 無料で運営される主要観光地の駐車場
 - ・ インジェルロード等の主要観光地の駐車場は、観光客も無料で利用できる状態となっている。そのため、観光客の観光地滞在時間の延長や駐車場の回転率低下、また、満車状態が続くことにより駐車待ちの車列が周辺道路まで伸びる事態となっている
3. 観光エリアと生活エリアの重複
 - ・ 島内は観光地と生活空間が隣接しているため、観光客が知らずに生活空間に立ち入ってしまうトラブルが発生している
 - ・ 瀬戸内国際芸術祭や高松空港国際線増便を契機に、外国人観光客が急増。現在、観光客の2割を外国人観光客が占める
 - ・ 外国人観光客向けの情報発信の不足・日本のモラルやマナーに対する理解不足から、ごみのポイ捨て問題など地域資源の棄損につながる行動がみられる
4. 外国人観光客の急増

2. 満車状態が長引く
観光地駐車場



3. 観光エリアと生活エリアの重複



1. フェリーで来訪する観光客



4. ポイ捨てごみ



4. 対策の概要

- ・ ピーク時にはフェリー 1 便で500名程度の観光客が来島するが、二次交通が不十分なため、バスなどの島内交通で混雑が発生している。また、観光地と生活エリアが密接している場所では、観光客のマナー違反によるトラブルが生じている。
- ・ 小豆島全体を包含する観光ビジョンの策定に際し、交通・旅館・観光施設などの観光事業者のほか、大学なども参加し、島内観光が直面する課題を話し合った。
- ・ 小豆島観光協会では毎月会長、副会長、土庄町・小豆島町の商工観光課課長が集まり、観光施策について議論している。その中で上記オーバーツーリズムに関する課題について対策を取る必要があるとの認識に至り、両町の自治会とも相談の上で本事業の実施決定に至った。



④

観光客の分散・平準化

取組み

①エンジェルロード駐車場整備・有料化

背景

- ・ 無料駐車場に観光客が長時間滞留、周辺道路の渋滞等を引き起こしている

内容

- ・ 駐車場を有料化し、駐車場利用時間の短縮・周辺道路の混雑緩和並びに、駐車場事業で得た収益の町内オーバーツーリズム対策事業への還元を目指す

取組み

②バスロケーションシステム導入

背景

- ・ ピーク時に観光地周辺のバスが混雑し、島民が乗れない事態が起きている

内容

- ・ バスの遅延・増便情報を観光客に提供し、バスの利用時間やルート調整を促し、バス混雑の減少を図る

取組み

③タクシー配車予約システム導入（小豆島全域）

背景

- ・ 予約方法が電話に限られており、配車効率が悪い

内容

- ・ インターネット予約方法の確立、空車台数等見える化により、配車効率化を図る

受入環境の整備・増強

取組み

④モビリティ等車両導入（坂手港）

背景

- ・ 島内全体で二次交通の供給が不足している

内容

- ・ 次世代自動車やEVバイク等のモビリティレンタル事業で二次交通の選択肢を増やし、バスの混雑緩和に繋げる

マナー啓発

取組み

⑤スマートフォンによる多言語情報提供（小豆島全域）

取組み

- ⑥多言語案内啓発看板設置 島内10か所（赤★ 中山千枚田、大坂城残石記念公園、寒霞渓山頂、エンジェルロード、道の駅小豆島オリーブ公園、醬の郷、二十四の瞳映画村、小豆島ふるさと村、宝生院、土洩海峡）

取組み

⑦ごみ箱設置（青★ 中山千枚田、大坂城残石記念公園）

背景

- ・ 観光地と島民の生活エリアが近接する小豆島では、生活空間への観光客立ち入りや、ごみのポイ捨てによる生活環境の悪化が起きている

内容

- ・ 案内看板とスマホによる情報提供により、観光客の立ち入り可能地域を明確化・マナー啓発による住民トラブルの未然防止を図る

5. 主な取組み（詳細）

課題

- 主要観光地エンジェルロードの、駐車場周辺における道路渋滞

取組み

エンジェルロード駐車場整備・有料化

- 実施期間：令和7年2月
- 実施主体：土庄町

事業内容

■ エンジェルロード駐車場整備・有料化

- エンジェルロード駐車場を整備し、有料化する
- エンジェルロードから徒歩5分の第2駐車場は無料のままとする

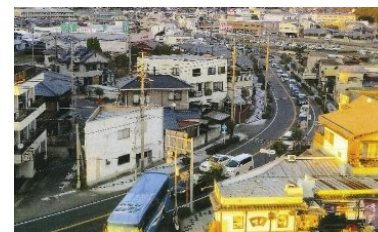
【背景】

- 無料であるため観光客が長時間滞留し、周辺道路の渋滞や観光客の満足度の低下が起きている
- 瀬戸内国際芸術祭開催などの影響もあり、令和元年度には推定来訪者数が30万人を超え、繁忙期の混雑が顕著になったことから、有料化について検討を行ってきた
- 島内路線バスやまちなか周遊ルートなど複合的な検討が必要であることや、島内観光地に有料の事例がなかったことなどから、具体化に至らなかった
- 観光ビジョン策定に至るワーキンググループ等の課題検証において、持続可能な観光に資するために、二次交通の強化や観光客増加による生活環境への悪影響などが挙げられ、混雑・マナー違反对策や次世代につなげていくための財源確保策として、事業立案につながった

【目的】

- 有料化により、駐車場利用時間の短縮・周辺道路の混雑緩和につなげ、また、小豆島全体で持続可能な観光への取組みの一つとして、駐車場事業で得た収益を対策費に充当す形でへの還元を目指す
- 第2駐車場は無料とすることで混雑の分散を図る。隣接する迷路のまちエリアや土洩海峡などの観光地への誘客にもつなげる

区分		使用時間	使用料 (1区画)
8:00～ 18:00	普通車用	30分以内	300円
		30分を超え30分ごと	100円
	大型車用	60分以内	2,000円
		60分を超え30分ごと	1,000円
18:00～ 翌8:00	全区画		無料



エンジェルロード駐車場から伸びる道路の混雑状況



繁忙期（GW）の混雑状況



繁忙期（お盆）の混雑状況

5. 主な取り組み（詳細）

事業内容

【周辺図】



国土地理院データ（エンジェルロード付近）を基に土庄町加工作成

<https://maps.gsi.go.jp/#16/34.477154/134.190059/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>

成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- ・ 駐車場有料化による、駐車場回転率の向上及び周辺道路の混雑緩和

事業の成果／目標の検証結果

- ・ 駐車場の回転率が向上し、混雑が緩和した※()は計測時期
 - ▶ 1台あたり駐車場滞在時間: **29.5分**(R6.8)→**24分**(R7.2)に減少
(**19%減**)
 - ▶ 周辺道路通過の所要時間: **4分55秒**(R6.8)→**4分17秒**(R7.2)に減少
(**13%減**)

成果詳細



有料化後の駐車場



満空情報の掲示

【成果】

- ・ 駐車場の回転率向上
- ・ 周辺道路の混雑緩和
- ・ 継続的な町の収益確保

【副次的な効果】

駐車場に配置する誘導員について、従来5人体制だったところ、2人体制で対応できるようになるなど人員不足の解決にも寄与

【有料化による収益】

駐車場追加や警備員費などの対策費用に活用していく

令和6年度取り組みから見てきた課題

■ 増加する訪日外国人旅行者の利便性向上

- ・ 現状、駐車場に関する看板や支払い方法等のインストラクションが日本語のみとなっている
- ・ 外国人観光客が車で島内を移動するケースも増加しており、インバウンド対応が必要

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

■ 多言語対応や支払い方法の多様化

- ・ 駐車場の使用状況やニーズを把握した上で、必要に応じ、精算機の使い方など多言語化の対応をしていく

5. 主な取組み（詳細）

課題

- 島内二次交通の供給が不足している

取組み

モビリティ等車両導入（坂手港）

- 実施期間：令和7年2月
- 実施主体：小豆島町

事業内容

■ モビリティ等車両導入

- 小豆島町が次世代自動車やEVバイク等のモビリティを購入
- 民間事業者にて、観光客向けモビリティレンタル事業を実施

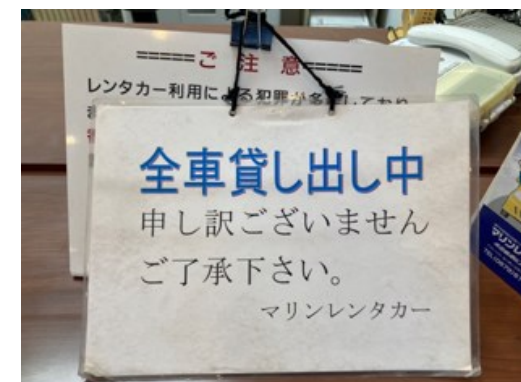
【背景】

- 小豆島では、二次交通の供給量と手段の種類が限られている
- 町民・観光客共にバスへの依存度が高く、バスの利用集中によるバス内の混雑が深刻である
- バス以外の二次交通の手段として、レンタカーが有効であるが、特に繁忙期は供給が不足し、観光客の利用が確保できない状況
- 小豆島は繁忙期と閑散期で来訪者数の変動が大きいとため、民間のレンタカー事業者にとって、繁忙期に合わせた設備投資は現実的ではない
- 観光需要の変動に柔軟に対応するため、町が車両を購入することで、閑散期は町で利用、繁忙期は民間に無料貸与し供給力を補完する方針となった

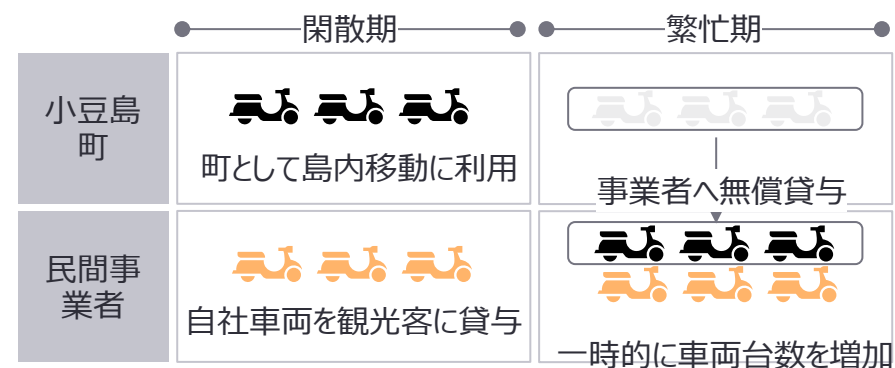
【目的】

- 二次交通の選択肢を増やすことで、観光客の利便性向上と既存の島内交通手段（バス）への一極集中を緩和する

繁忙期にはすぐに満車になるレンタカー



観光需要の変動に応じたレンタル車両の管理



成果及び今後に向けて

令和6年度事業の目標

- 自動車・EVバイク等のレンタルを行い、島内二次交通の選択肢を増やす

事業の成果／目標の検証結果

- 車両の導入は完了したが、観光客の利用はこれからとなる
- 大型連休等の多客期や、瀬戸内国際芸術祭開催時期等の多客期に、島内の二次交通として有効な手段となるよう、取組み・検証を行う

成果詳細



自動車PHEV 1台とEVバイク9台を導入

他事業におけるモビリティの増強

小豆島における一般型採択のシェアサイクル事業とあわせ、島内における観光客のモビリティへのアクセスは向上した。

- シェアサイクル 160台導入
- サイクルポート 10か所増設（計42か所）

事業名：「自律運航船（無人運航ボート）とシェアサイクルを組み合わせた新しい島の周遊モデル」

令和6年度取組みから見えてきた課題

■ モビリティのレンタル利用促進

- 島内の移動手段として、知らないと利用してもらえない。観光客が島内移動手段を検討するモーメントを捉え、適切な場所で周知する必要がある

令和7年度以降に取り組むべきと考えること

■ 関係者と連携した旅行前・旅行中のPR強化

- 観光協会や町のホームページによる周知、観光導線上にある坂手ターミナルやジャンボフェリー内での周知を行い、既存の二次交通バスからの分散を促す